

様式 C-37〔作成上の注意〕

1. この様式は、科学研究費補助金による研究成果が図書・雑誌等に掲載されたとき及び研究実績報告書(様式C-33)で報告された産業財産権(特許・実用新案権・意匠権)が成立した場合(新たに出願した場合を含む)に研究代表者が作成し、(所属研究機関に補助金の管理を委任した場合は、当該研究機関を経由して)速やかに提出すること。
(なお、所属研究機関を経由して提出する場合、提出にあたっては、特に研究機関からの公文書によることはなく、科学研究費担当課長等からの事務連絡で差し支えない。)
2. 様式はA4判縦長で作成すること。
3. 「1. 研究代表者氏名」欄の()には、補助金の管理を委任した者は(a)について、それ以外の者は(b)について記入すること。
4. 「3. 研究発表」欄には、この研究によって得られた研究成果を発表した雑誌論文(当該補助事業期間中の研究成果)の著者(第一著者)名、論文標題、雑誌名(大学の研究紀要等を含む。)、査読の有無、巻、発行年(西暦)及び最初と最後の頁を記入すること。また、図書については、著者(第一著者)名、出版社名、書名、発行年、総ページ数を記入すること。
5. 研究成果が掲載された雑誌・図書等については添付の必要はない。
6. 「5. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況」欄の「発明者」と「権利者」が同一である場合には、「権利者」の欄には、「同左」と記入すること。
7. 研究実績報告書に記載したものについては、改めて提出する必要はない。